

喜界町



議会だより

183号

令和3年5月11日発行



写真-小学校生活のスタート(喜界小学校)



主	一般会計当初予算	2
な	一般質問に6名が登壇	5
内	条例案件等報告	13
容	編集後記	14



発行/喜界町議会 編集/議会広報委員会
 〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地
 TEL:0997(65)1115・FAX兼用

令和3年第1回定例会は、3月2日開会し3月17日まで16日間の会期で開かれた。初日は報告2件があり、承認2件を承認、補正予算5件、工事請負契約1件を可決した。議案7件を予算審査特別委員会に付託、議案10件を各常任委員会に付託した。3月12日は一般質問があり6名が登壇。3月17日の最終本会議では、予算審査特別委員会、各常任委員会の委員長から報告があり、議案18件を可決。追加議案の工事請負変更契約1件を可決、同意2件を同意した。

“出産祝金”事業新設 第5子以降50万円

◆ 令和3年度 一般会計当初予算の主なもの

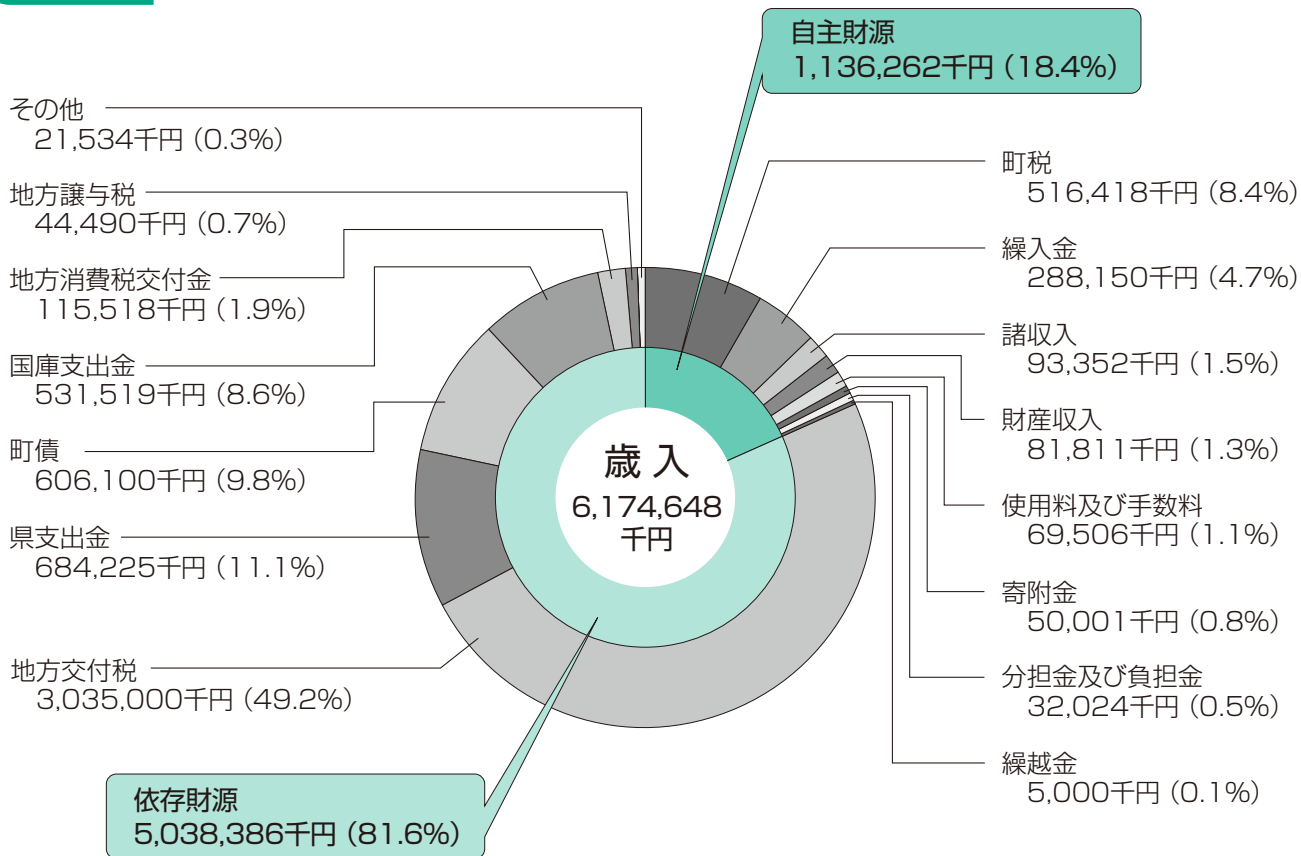
担当課	事業名	内容説明	予算額(千円)
総務課	庁舎管理費(改修工事)	庁舎屋上の防水工事	17,000
	財産管理費(修繕料)	池治、佐手久、志戸桶公民館の維持補修費	4,950
	交通安全対策費(原材料費)	ロードミラーの修繕や新規設置のための事業	1,000
	総務管理費(地方公共交通特別対策事業補助金)	生活路線であるバス事業の運営補助金	33,500
	総務管理費(鹿児島、喜界、知名航路運営基金負担金)	生活路線である船航路の運営負担金	9,080
	自然環境保護費(委託費)	遊歩道の歩道修復・緊急車両用歩道拡張・駐車場整備・展望台設置を予定	20,000
	地域おこし協力隊費(報酬費)	観光物産協会関連、ジオパーク関連、移住定住関連の新規の地域おこし協力隊に係る3名分の報酬費	6,048
	新型コロナウイルス感染症対策費(委託料)	喜界町港(湾・早町)における、乗船客への検温作業委託費	1,892
農業振興課	糖業振興費	基幹作物であるサトウキビ並びに生産量日本一の白ゴマの生産向上を目的に行うための事業(さとうきび機械導入等支援事業、ゴマ機械助成金、ミニトラクター購入助成など)	26,692
	畜産振興費	増産・増戸や畑の造成による飼料確保ならびに機械導入による省力化を図り畜産振興による農業生産の向上を目的に行うための事業(自給飼料増産対策事業補助金、増頭推進事業補助金など)	29,593
	園芸振興費	高収益作物推進による農業生産の向上を目的に行うための事業(農業用ハウス・平張り・防風ネット施設や緑肥等の資材助成、農産物輸送コスト支援補助金など)	42,882
	農地費	畑地帯総合整備事業や農地保全、新たな水資源を図るための事業(堆肥実証実験施設整備、土地改良整備など)	196,026
	農業基盤整備促進事業	農道、排水路等の整備を行うための事業(城久・羽里・島中・花良治)	33,618
	鳥獣防止対策事業費	農作物に対しての鳥獣被害対策を行うための事業(シカ・カラス等)	7,438
企画観光課	企画費(喜界町地域公共交通会議委員報酬)	町内の公共交通機関の強化を目的とした会議の委員報酬	165
	移住促進事業費(負担金及び交付金)	空き家バンクに登録している物件の改修補助金(集落が中心となって行う改修、個人が行う改修が対象)	2,500
	喜界馬復活活用プロジェクト事業費(委託料)	島内では飼育されなくなった喜界馬(現在は十島村で飼育されている)を復活させるためのプロジェクト	3,120
	離島漁業再生支援事業(補助費)	離島漁業の再生に向け、集落協定に基づいた取組を実施する事業費	4,895

担当課	事業名	内容説明	予算額(千円)
企画観光課	地方創生関連事業費 (負担金、補助及び交付金)	島外から人を呼び込むスポーツイベントを開催した団体に対する補助 (K-SMS支援事業)	200
	水産業振興費	水産業振興のための事業(町漁協運営補助金など)	4,232
	水産物加工施設整備費	水産物加工施設(湾漁港内)の運用で水産物の売上向上を図るための事業	586
	観光費	公園管理、清掃(トイレ等)委託料や観光パンフレットの作成を行うための事業	30,129
	ジオパーク推進事業	本町の地域資源(隆起サンゴの島)を活かしたジオパーク認定に向けた事業	3,389
	奄美らしい観光推進事業	喜界島らしい地域資源を活用した体験プログラムを通して、島の魅力を感じてもらい、ファンやリピーターを確保するための事業	5,380
	観光案内アプリ導入 事業費	観光アプリケーションを構築し、観光客が手軽に観光地までの経路を検索出来る様に整備するための事業	3,000
保健福祉課	後期高齢者費 (委託料)	「食」の自立支援事業(訪問給食)を継続実施	6,840
	後期高齢者費 (扶助費)	長寿祝い金贈呈事業	4,300
	児童福祉総務費 (扶助費)	出産祝い金:1子目10万円・2子目20万円・3子目30万円・4子目40万円・ 5子目以降50万円	13,340
	こども医療費助成事業費 (扶助費)	こどもの健全な発育とこどもの育てやすい環境を念頭に、疾病治療にかかる医療費の助成を行うことを目的とする助成金	6,480
まちづくり課	道路維持費	一般交通に支障のないよう、道路保全(草刈等)や主に集落要望のあった道路等の改修工事を行うための事業	13,000
	道路新設改良費	幹線道路の利便性、安全性を確保するため、整備・補修をし、安全走行を図るための事業(前満盛線(空港前)、早町・伊実久線など)	95,100
	地域住宅交付金事業	公営住宅の老朽化が著しく、近年の住宅事情にそぐわないため建て替えや改修を計画的に進めるための事業(湾宮戸住宅1棟を新築)	123,400
町民税務課	地籍調査事業	1筆ごとの土地の所有者、地番及び地目調査及び地籍に関する測量を行い地籍図・地籍簿を作成し、地籍の明確化を図るための事業(湾、大朝戸、浦原の各一部調査を行う)	22,510
	海岸漂着物地域対策 推進費 (委託費・報償費)	海洋ゴミによる海岸機能低下、環境・景観の悪化が見られる (本町に漂着する海岸ゴミを処理するため同事業を実施)	8,116
教育委員会 事務局	教育費事務局費 (スクールバス運行委託料)	スクールバスの運行委託料	43,200
	教育費事務局費 (入学祝い金)	喜界高校入学生への祝い金(1人2万円)	1,400
	教育費 (地方創生関連事業費)	家庭の経済的事情に関わらず安心して学び、進路希望できるよう支援するための事業(各種検定等の支援、国公立大学進学支援)	3,147
	教育費 (小学校費)	困り感のある児童の自立や社会参加に向けた取り組みを支援し、生活や学習上の困難を改善又は克服し、適切な指導支援を行う	54,799
	教育費 (中学校費)	部活動等における大会出場に係る費用の一部を補助する。経済的理由により就学困難な家庭へ、学用品や給食費等の一部を支援し、中学校教育の円滑な実地に資する	44,320
	教育費 (幼稚園費)	各幼稚園で3年保育を実地し、幼児教育の充実と個に応じたきめ細やかな対応ができるよう保育環境を整備する	100,573
	教育費 (給食施設費)	安心・安全で栄養バランスのとれたおいしい食事の提供を行い、民間業者と連携を図り衛生管理の徹底に努める。また地元食材を活用した郷土料理の提供に努める	95,636
	教育費 (保健体育総務費)	生涯を通してスポーツの機会が得られるような体育施設の改善を図り、幅広くスポーツを普及させ、健康増進と体力向上を目指すための事業(施設の管理委託料や大島地区大会の選手派遣補助金)	19,575

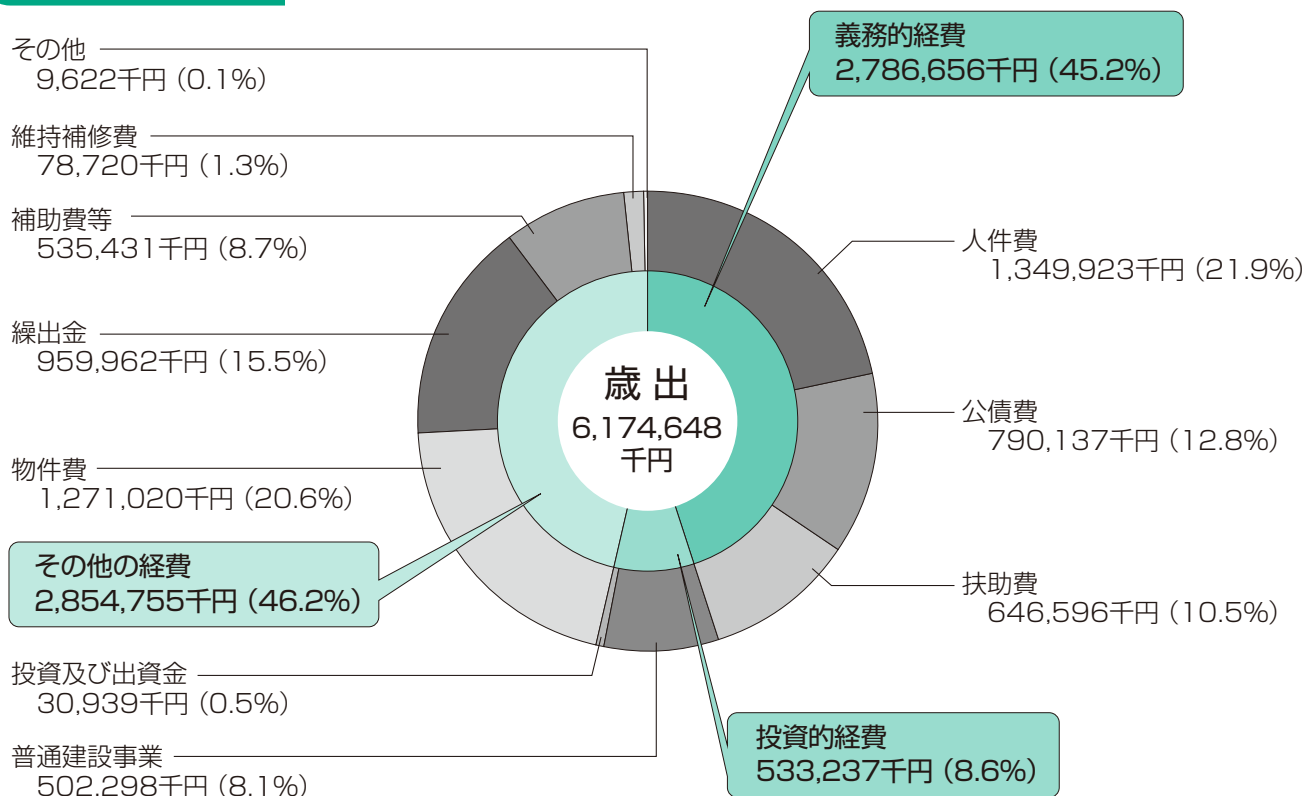
令和3年度 一般会計当初予算

(単位:千円)

歳入



歳出《目的別》



一般質問

町政のここが聞きたい

第1回定例会で6名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
倉橋 博都 議員

カラス駆除年々増加

質問

駆除方法はどのようにされているのか伺う。

答弁 町長

本町では、猟友会をはじめ有害捕獲従事者の協力を得ながら駆除対策を実施している。

現在は、箱ワナと銃による駆除を行っている。

質問

年間何羽ぐらい駆除されているのか。また、過去に駆除された場合の1羽当たりの駆除費用はどれぐらいなのか伺う。



カラスによる作物被害状況

答弁 町長

平成30年度が364羽、令和元年度が477羽、令和2年度が2月1日現在で425羽となっている。駆除費用は、1羽当たり1,000円である。

質問

駆除費用の増額はできないか伺う。

答弁 農業振興課長

買取り価格の値上げについては、これまである一定程度の実績を上げてきておりますが、場所によっては集中的にカラスの被害がある。

質問

価格については、猟友会の皆さんの御意見をいただきながら検討する。

所信表明の中で鳥獣害対策が出

ましたが、どのような駆除対策をやっていくのか伺う。

答弁 農業振興課長

引き続き捕獲オリ、銃を使った駆除を行っていく。

質問

町道早町〜伊実久区間の補修や整備はできないか伺う。

答弁 町長

道路交付金事業で令和元年度よりこの路線も修繕工事を実施している。令和2年度予算については、今月中（3月中）にも工事の発注を予定している。3年度以降も引き続き修繕を計画的に進めていく予定である。



道路整備

質問

町道修繕工事は、早町方面、伊実久方面どちらからの整備となるのか。

答弁 町長

伊実久方面からスタートとする。

質問

夜間の安全対策を伺う。

答弁 町長

夜間の安全確認表示については、路面の修繕事業でまず白線を設置する。安全上必要な箇所には視線誘導標（ポール状）の設置も検討している。



質問する
土岐 和貴 議員

子供たちの可能性は無限大

質要

人々の求心力を高めるのがスポーツの力。スポーツの力を使って町を活性化し、人々を元気にしたい。そのためにも子供たちの輝ける環境を整える必要がある。

質問

未来の喜界町を支えていく子供たちにスポーツ教育の充実を図り、

夢や希望を与えていく取組は必要と考えるが見解を伺う。

答弁 町長

可能性を広げ夢や希望を与えていく取組はスポーツに限らず、文化活動も含めて必要と考えている。スポーツ、音楽、文化活動は仲間と切磋琢磨し成長していける大事な役割がある。

質問

スポーツ大会に出向き子供たちの活躍を町長はじめ教育長が見て頂き、町全体で応援していく環境づくりが必要ではないかと考えるが見解を伺う。

答弁 町長

頑張っている子供たちを直接応援したいと思っている。ただ、公務の関係もあり機会が限られる。各競技団体と日程調整を図り、可能な範囲で対応したいと考えている。

答弁 教育長

重点施策の中に、やればできる可能性への挑戦を合い言葉に、幼児、児童生徒一人一人が自らの可能

性に挑戦し、より高い自分を目指すため夢や志を育む教育の推進に努めている。可能な限り参加し、子供たちを支援し応援して参りたい。

質問

保護者は年に二回希望する大会の支援促進を強く希望している。本町ではどのような対応を考えているか見解を伺う。

答弁 教育長

大会については、競技種目によって大会の数、規模、実施方法が異なるため、公平性と平等性など考



スポーツに取り組む子供達

慮しながら、引き続き検討していきたい。支援を拡充する方向で考えている。

質問

子供たちの才能を最大限に引き出すためICTを活用したスポーツ遠隔指導「リモート教育」が必要になると考えるが見解を伺う。

答弁 町長

リモートでアスリートや指導者と触れ合える機会が増えれば、離島のハンデも克服でき可能性を広げる貴重な体験が実現できる。ICTを活用したリモート教育は進めていく方向で考えている。

質問

ICT機器を教育委員会で管理し各競技団体へ貸し出しできるように取組は可能ではないかと考えるが見解を伺う。

答弁 教育長

ICT教育を進めることは極めて重要であると考えている。活用方法なども含めて検討したいと考えている。

プログラミング教育の充実を

【質 要】

生活がどんどんデジタル化し、AIなどの新たな技術が生まれる中、10年先の未来すら予測することが難しくなっている。

【質 問】

2020年から必修化されているプログラミング教育について見解を伺う。

【答 弁】 教育長

学習指導要領に示されているプログラミング教育の狙いは、プログラミング的思考を育むこと。コンピューターを上手に活用して身近な問題を解決し、よりよい社会を築いていく。各教科の学びをより確実なものにすること。コンピューターを活用できる楽しさ、面白さを実感していくことは重要だと考える。

女性に優しいまちづくり 実現に向けて

【質 要】

妊産婦の不安の解消を実現していくため、子育ての応援として出

産祝い金や乳幼児紙オムツ購入費一部助成など町独自の児童福祉向上が促進していく中で、妊産婦にとって経済面だけではなく精神面の負担軽減も必要と考える。

【質 問】

家族の島外旅費の給付実現を図り、いつでも駆けつけられる環境を整えていく必要があると考えるが、見解を伺う。

【答 弁】 町長

昨年度から産婦健診費の助成等を段階的に実施しており、今後も妊産婦や新生児に係る助成が必要になることが予想される。助成事業の財源確保は年々厳しさを増している、国や県の助成事業、ふる



今年誕生した新生児

さと納税を活用するように努めている。家族の島外旅費給付については、検討課題とさせていただきたい。



質問する
良岡 理一郎 議員

PCR検査機器 徳洲会病院に設置

【質 問】

本町にPCR検査機器を設置し、検査結果を短時間で得ることが喫緊の課題である。町長は前回12月議会において「医療機関と連携した準備を進めている」と答弁されている。進捗を伺う。

【答 弁】 町長

検査結果が早く判明するのは、感染が疑われる患者本人の精神的不安を解消することはもとより、感染拡大を防止する観点からも重要なことだと認識している。この間

は、検体を船便で鹿児島検査センターに搬送し、結果判明まで5日を要し、その後、航空便で3日ほどに短縮されてきた。昨年12月末から喜界徳洲会病院にPCR検査機を導入しており、これにより15分ほどで検査結果が出るようになり、時間短縮の課題は解決されている。

PCR社会的検査は 国の動向注視

【質 問】

町内の医療機関、老人施設はクラスター（感染集団化）の恐れもある。感染を初期段階で抑え込むためにも、医療機関、介護施設で働く職員や利用者に対して早期にPCR社会的検査をすべきであり、財源は財政調整基金をも視野に入れるべきではないか。

【答 弁】 町長

高齢者は病状が重症化しやすく、医療提供体制への負担の増大を防ぐ観点からも感染防止や早期対応が重要だと認識している。現在感染防止対策を徹底している。質問の社会的検査については財

源が課題であり、国の財源拡充を含め注視していきたい。実施に際して財源以外にもさまざまな課題があるが、当面は国の指針にそって進める。

ワクチン接種は 入荷が確定次第町民へ案内

質問

本町におけるワクチン接種計画について伺う。

答弁

 保健福祉課長

① 町民への周知については順次接種のクーポン券と予診票を届ける予定だがワクチンの入荷の確実な情報を待つてやりたい。住民票が島になくても現地で接種が可能。

② 町では2月8日にワクチン接種推進チームを立ち上げ、諸準備を進めている。先行接種対象の医療関係者等の190名については3月14日から接種を開始している。

③ 現時点(3/12)では今後のワクチン入荷が4月下旬とされており、入荷が確実になった時点で町民へ案内する。対象者は3月1日現在16歳以上の6,040名。内、高齢者2,762名を予定してい

る。

④ 接種会場は自然休養村管理センターで集団接種、その後は医療機関で個別接種を予定している。高齢者施設は訪問して接種予定。

⑤ アナフィラキシー(強い副反応)対策としては接種後15分の待機をお願いし、副反応時にはすぐに治療できる体制を用意している。

野生シカ対策 生息数を再調査

質問

平成30年度の生息数調査で115頭と推測し、同時にくくりワナ免許取得者への費用を町で補助するなかで人的体制も整ってきたところだが最近、農家の方々の被害が寄せられている。改めての対策を伺う。

答弁

 町長・農業振興課長

町にも10件ほど被害が寄せられている。かぼちゃ、かんきつ類、サトウキビ被害報告があり、直ちに猟友会等と連携し対策をとっている。令和2年度は59頭を捕獲、駆除している。幼獣の捕獲補助金を成獣並みに要望したが、関係者の

要望もないので引き上げの必要はないと考えている。

令和3年度は2回目の生息数調査を予定しており、それを踏まえて対策を強化したい。

動物病院出張診療 今後はノラネコ対策も

質問

多くの町民から歓迎されている施策である。毎回、平均で約90頭のイヌ・ネコが診療・不妊手術を受けている。

今後はノラネコ対策が必要でノラネコTNR(野良猫を捕獲し、避妊・去勢手術をしたあと元の場所に戻すという方法)を検討すべきではないか。

答弁

 町長・町民税務課長

動物愛護法では動物の所有者に對して、動物がみだりに繁殖して適正に飼育することが困難とならないよう適切な措置を求めている。ノラネコを増やさないためにはTNRによる不妊手術が有効な手段の一つと認識している。

そのためには動物病院の協力が不可欠。生息数調査等、飼い猫と

ノラネコの区別等課題も多い。近隣自治体の取り組みなど参考に検討する。

共同墓(納骨堂)協議会で 検討

質問

今回のアンケートには545世帯から回答いただき108件の意見が寄せられている。アンケートには多くの町民の思い、共感と期待が寄せられている。これらを踏まえ町長の思いと今後の計画を伺う。

答弁

 町長

アンケートに協力いただき、区長、町民の皆さんにお礼を申し上げます。

納骨堂が必要と言うのが193人で36%、将来的に必要であろうというのが263人で48%、納骨堂の必要性を望む声が合わせて83%もある。今後については、町民の協議会を設置して議論を進めていきたい。



質問する
米田 信也 議員

子どもたちのために 校務支援システム導入へ

質問
校務支援システムは、県内で、鹿児島市、霧島市、阿久根市などが導入している。

本町も導入を検討しているようだが、校務支援システムの内容について伺う。

答弁 教育長

校務支援システムは、効率的な校務処理と、その結果生み出される教育活動の質の改善、教員のゆとりの確保を目的とするシステムである。

統合型校務支援システムについては、情報化の進展に伴い、数年前から県内の自治体で導入する動きが見られ、現在では全ての自治体で導入に向けた取組が進められている。

本町においても、その動向を踏まえ、令和3年度に通信環境等を整備し、令和4年度にシステムの導入を図るスケジュールで進めている。

質問

システムを導入することでのメリット、特に子供たちに対してのメリット等を伺う。

答弁 教育長

1点目、出席簿や通知表などの異なる帳簿や帳票であつても同じデータを何度も使用するものは、1か所に入力するだけで全てにリンクすることができ、同じ作業を繰り返す必要がなくなる。

2点目、評価や評定を入力することで、通知表や指導要録等の成績欄に反映させたり、テストの点数、素点を入力した後に、評価や評定を自動で算出したりすることができるため、計算ミス等の誤記を防ぐことができる。

3点目、職員への連絡事項をコンピュータで送信、編集、閲覧などができる掲示板機能を活用することで、全職員に対して、連絡の正確な内容、期限等の周知徹底を図ることができる。一括管理するこ

と、また、サーバーは役場に置くことになり、個人情報漏えい防止に役立つと考えている。

4点目、繁忙期における校務時間、1日当たり1時間以上効率化されたという報告もあり、教職員の業務改善につながると考えられる。

一般廃棄物最終処分場は もつと住民説明会を

質問

最終灰の処分場建設、集落説明会の進捗状況について伺う。

答弁 町長

喜界町には一般廃棄物最終処分場がないため、クリーンセンターで出た灰は、現在、特例として薩摩川内市のエコパークがごしまに、令和4年度までの期限付の搬入となっている。県内で一般廃棄物最終処分場がない市町村は三島村と十島村、喜界町の3町村である。

そのことから、以前、環境影響調査を実施した。塩道集落と佐手久集落の中間にある候補地での建設をお願いするため、塩道集落では2月24日、佐手久集落では2月

26日に集落説明会を実施させていただいた。

予定地には集落共有地もあるため、建設への御理解がいただけるよう、今後も丁寧に説明をしていきたい。



質問する
榮 優太 議員

町長の政治姿勢、 具体的な施策は

質問

施政方針で、「きらりと輝く若い世代を後押しする」「きらりと輝き安全な暮らしができる島」「きらりと輝くための仕事の創設」「きらりと輝くための人を呼び込む」、四つの重点施策は若者が安心して島で生活できる。人口減に歯止めとなる施策でもあることから、若い職員チームで構成して、島外に住んでいる若者との情報共有や新たな政策を検討する組織が必要と

考えるが見解を伺う。

【答弁】 町長

町の施策は長期総合振興計画が基本となっている。今年度は計画更新の時期でもあり、計画策定の過程で、職員や若者に限らず幅広い年代の立場の方々の意見を反映させる必要があると考えている。

また、今年度改定された喜界町人口ビジョン及び第2期喜界町まち・ひと・しごと創生総合戦略にも、若者のまちづくり参画を促すために、若者創生会議事業も取り入れ、島内外の方々の意見も含め、貴重な意見を吸い上げ、施策に反映させていく考えである。

小・中学生遠征費助成率引き上げ

【質問】

家庭教育の負担軽減、小中学生のスポーツ・文化に係る遠征費の助成額を増額し負担軽減を図るなど、計画があるのか。また競技種目によつては人数や遠征の回数など様々であることから、平等に助成できるかについて伺う。

【答弁】 教育長

小中学生のスポーツ・文化に係る遠征旅費の助成額を増額し、負担軽減を図ることが提示された。具体的には、小学生については、年1回実施される地区スポーツ少年団交歓大会に出場する競技団体に對して、遠征旅費の助成を50%から来年度は助成率を70%に引き上げたいと考えている。

中学生については、これまで中学校体育連盟、中体連主催の大会を基本に、地区大会については50%、県大会については70%、九州大会、全国大会については全額を補助しているが、地区大会の50%を70%に引き上げ、また、吹奏楽コンクールの文化活動も同様に70%に引き上げたいと考えている。

その他の大会等については、スポーツ・文化活動に平等性、公平性等考慮しながら、引き続き検討していく考えである。

中学校の吹奏楽部関係以外の小中学生の文化活動に関する助成については、具体的な支援や助成は、実施していないが、今後は活動の実態、大会の性質などの把握に努め、必要性等を検討したいと考えている。

【質問】

ゴダラカミキリムシの買取り価格を上げることにより、100スポーツクラブや子ども会で定期的に捕獲イベントを行つてはどうか、見解を伺う。

【答弁】 町長

平成19年度よりゴダラカミキリムシの買取り事業を始め、買取り価格は、当初1匹当たり10円からスタートし、30円、50円と推移し、平成30年度から現在の1匹当たり100円となっている。買取り数については、1,000匹から3,000匹程度になっており、昨年は約4,700匹と大幅に増加し、過去最大となっている。買取りには一定の効果が出ているものと考え、価格について今のところ適正であると考えている。

【答弁】 教育長

独自の規約を定めて自主的に運営している100スポーツクラブであるため、代表者や関係者の方々の意向を踏まえ協議を重ねながら調整等に努めたい。

【質問】

独り親家庭の公営住宅家賃の減額はできないか伺う。

【答弁】 町長

町営住宅家賃等の減免及び徴収猶予等に関する取扱要綱に基づき、算出した収入の月額5万円以下である方等については、家賃等の減免対象とすることとしている。

独り親家庭に限らず、コロナ禍などで収入の減少した方については、担当課に相談いただければ対応していきたいと考えている。

畜産研修施設整備は課題山積

【質問】

若者が島で農業をするために、もうかる農業が必要である。本町においても園芸作物をしながら畜産と複合型農業を推進しているが、畜産においては自己資金が必要ないため、新規就農従事者がいない。まずは、園芸作物をしながら畜産も研修できる研修施設が必要と考えるが見解を伺う。

【答弁】 農業振興課長

本町では後継者育成事業の一環として新規就農希望者を対象に1年間の研修制度を実施している。

畜産については、町内の先進農家での研修を実施している。理由として、

- 1点目、畜産の研修希望者がこれまで1件だけであるということ
- 2点目、専門的知識を有する研修指導者の確保が必要となること
- 3点目、研修生がいない期間も含め、餌の世話や発情、出産、事故など、24時間365日体制で牛の世話が必要となること
- 4点目、それ相応の牧草地の確保並びにその管理が必要となること
- 5点目、飼料、餌の収穫並びに飼養管理など各種専用の機械の導入が必要となること

また、稼働率など、管理体制や設備投資、維持経費など費用対効果を考慮すると、町で畜産の研修施設を整備するのは難しいと考える。

新規就農者への資金面での支援として、畜舎など施設整備や牛の導入等の費用について町単独事業での助成を行っており、政策金融

公庫などの資金貸付制度と併せて新規就農者の負担軽減に努めている。また、関係機関と連携し、飼養管理の指導並びに目的と内容に応じた補助事業のあっせんを行い、支援体制の充実、強化を図っている。



質問する
生島 常範 議員

避難所整備複数個所実施

【質問】

昨年12月議会で要望したが、「避難実績の有る施設から奄振予算等を活用して進める」との事だった。進捗状況といつまでに行うのかどうか。

【答弁】 町長・総務課長

川嶺地区研修センターが補正予算分でトイレを内トイレの洋式にするため、浄化槽工事、更に雨戸工事を予定。今年度予算が通過すれば他に複数個所実施予定。

志戸桶沖名泊の公衆トイレは全体計画見直し

【質問】

築35年経過し、使用不能状態が長年続いている。国立公園内の町指定海水浴場、平家上陸の地でもある。今後の予定を伺う。

【答弁】 町長

指定海水浴場の改正や観光ルートの見直し、トイレ新設要望等を踏まえ、全体的な計画を練り直し、何処に何が必要なのか等早急に検討していきたい。

地区文化協会創設は関係団体と協議

【質問】

学校で進めている郷土を愛する教育と連携し、地域活性化のためにも、町文化協会の下部組織に地区（集落）文化協会の創設はできないか？

【答弁】 教育長

島内の貴重な文化資産の保護、活用、継承活動の充実に努力し、実態に応じて教育課程を工夫しな

がら取り組んでいくが、町文化協会の規約等に属する内容なので、同協会と協議、意見交換し多方面から総合的に検討したい。

【質問】

地域活性化への意識が高い行政職員にも、地区体育協会同様、積極的に区長と共に文化協会創設に向け協力を要望できないか。

【答弁】 町長

地域行事に参加するのは行政マシとして当然のことだが、各地域で区長を中心に仕切っていくのが普通の形。頭ごなしに引張っては却って避けてしまうのではと懸念される。出来る方が率先してそれに対して行政が支援する形がいいのではと思う。

方言サミットはコロナ禍で早期誘致は困難

【質問】

伝統文化の継承者である高齢者に敬意を表して「○○名人」等の称号を創設できないか。島の先輩方は謙虚なので、「自分から率先して指導する」と言う方は少ない。

【答弁】 教育長

伝承者としての高齢者に敬意を表するのは大変重要。現在学校でも地域の方々に指導して戴いているので、関係者や高齢者の方々のご意見を伺いながら協議していきたい。

【質問】

昨年は奄美市にて開催、2年後は沖永良部島で開催予定の文化庁主催「危機的な状況にある言語・方言サミット」を早期に本町でも開催し、町民の継承に向けた気運の醸成と家庭・地域・学校・行政の「4輪駆動」で取り組む体制作りを推進しては如何か。

【答弁】 教育長

昨年の奄美大会には本庁職員も派遣し成果と課題を精査し、誘致が可能か検討したが、現在はコロナ禍でもあり、早期の誘致は困難だと考えている。

【質問】

那覇市役所は職員採用の二次試験で採点項目外だが、親しみと普及拡大を目的に「しま言葉で自己紹介」を実施している。配布した

資料のように早町小、喜界小も「しまゆみたの宿題」を出して指導している。本町でも実施できないか伺う。

【質問】

【答弁】 町長

方言の継承は大変重要な事だが、近年の職員採用試験受験生は年々減少傾向にあり、負担を増やし却って減少する懸念があるので、現段階で実施する考えは全くない。

早朝船便利利用者の交通手段は公共交通会議で検討

【質問】

「急な港の変更で移動手段が無い」との苦情が多い。来島者には


喜界島のイメージにも直結する問題。沖永良部は喜界町で昭和62年から平成2年まで行っていた循環バスが港に立ち寄る事も出来る。喜界町でも検討できないか伺う。

【答弁】 町長

令和3年度に喜界町地域公共交通会議を設置し今後の方針等を検討していきたい。

シマぬ ゆみた(方言)調べるんど!

こんにちは!喜界島の公式キャラクター「よろこびと」だよ! せがくの冬休あだから、シマの方言について調べてみてよ。喜界島の方言をたくさん知ると、今とはちがった喜界島のよさが覚えてくると思うよ!あなたは何の方言がわかるかな?分からない方言は、保護者や地いきの方々に聞いてみるといいかもね! めざせ「ゆみた博士」!!



島口	共通語	島口	共通語
うがめんせーら		ひくるぎ	
うふくんでーた		あしど	
ちばりよ		あらんだろー	
わん		まくちう	
だー・うら		いじすつきやー	
いんが		だりていや	
うなく		さつんくとうか?	
しーほ		うら たるよ?	
しーまり		ぬーしーよ?	
うもーり		ぬっちつ ちやすよ?	
みせーり			
まさん			
がば			

(ステップ1,2) 早町小

(シマぬ ゆみた) 喜界小

町内2小学校しまゆみたの宿題

ご案内

次の議会は、6月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。(動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。)

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 65-1115

◆ 条例案件等報告 ◆

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第8号	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について (本条例中「令和3年3月」を「令和4年3月」に改めるもの)	11	0	原案可決
議案第9号	喜界町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について (一般家庭からの一般廃棄物処理費の中にマッサージチェア、パネ入りベッドソファ、ウォーキングマシン、車イス、1台1,000円を新たに加えるもの)	11	0	原案可決
議案第10号	喜界町公共施設整備基金条例の一部を改正する条例について (本条例第18号第6条の2を新たに加えるもの)	11	0	原案可決
議案第11号	字の区域変更について (大字・湾・字・大石垣の大字界の区域変更するもの)	11	0	原案可決
議案第12号	喜界町議会議員及び喜界町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の制定について (本条例を新たに制定するもの)	11	0	原案可決
議案第13号	報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について (第13号第2条に委員、獣医師の報酬を新たに加えるもの)	11	0	原案可決
議案第14号	喜界町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	11	0	原案可決
議案第15号	喜界町介護保険条例の一部を改正する条例について (喜界町介護保険条例第11号第2条第1項中介護保険料を引き下げるもの)	11	0	原案可決
議案第16号	喜界町妊産婦支援条例の一部を改正する条例について (出産時宿泊費等の助成額を1泊3,000円から1泊5,000円に引き上げる)	11	0	原案可決
議案第17号	喜界町出産祝金支給条例の制定について (出産祝い金及び乳児紙おむつ等購入費用助成金を支給することに関し必要な事項を定める)	11	0	原案可決

議会のうごき (4月~6月)

- 4月 8日 …………… 議長・事務局長合同会 (奄美市)
- 4月 26日 …………… 県政説明会 (鹿児島市)
- 5月 11日 …………… 議員研修会 (鹿児島市)
- 5月 12日 …………… 新議員研修会 (鹿児島市)
- 5月 19日 …………… 各種協議総会 (奄美市)
- 6月 4日 …………… 議員大会 (奄美市)

時本 茂花^{もか} 20代女性 (中里)

ずっと島が好きだった。島の発展に携わること、これが幼少期からの夢だった。

けど何をしたらいい？私に何が出来る？島のあらゆる所が目付いては自分の無知や無力感を感じていた。2020年9月、四年に一度の喜界町議会議員選挙がやって来た。私にとって選挙権を得て初めての選挙だ。ある議員候補から「今回選挙のウグイス嬢やってみない？」とお誘いを頂いた。その議員候補には「ずっとお世話になっており何か力になれるなら」とやらせてください」と即答。その日から選挙演説まで何度も議員候補の話を聞きに行った。過去にどういったものに携わってきたのか、そこで何を学び、どう今後に活かしていくのか、落ち着いた口調で淡々と語るその姿に頼もしさと憧れを抱いた。この方が町政の元で活躍する姿が見たい、その為に町民にこの想いを届けたい、強くそう思った。

迎えた演説開始日、練習不足の後悔や不安があったがもう行くしかない、車は走り出した。マイクを握り用意した原稿を丁寧になぞっていく。2日目3日目となると緊張感は心地よいものへと変化し、ただなぞっていた原稿も次第に私の言葉へと変わっていた。

4日目、具体的な政策を伝える。集落の中をゆつくり丁寧に戻った。今の島の課題は？残してい

きたいものは？きつとやってくれると思った。

そして最終日、体感で4日間はあつという間だった。しかし疲労は確実に蓄積されており座りっぱなしの腰は痛み、滑舌良く発音しようとする酷使した表情筋はもう限界だった。上手くろれつが回らない、動け私の口。保冷剤で顔を冷やしながらはつきりと発音できる間に全てをぶつけた。こんな体は疲れているのにこの日が一番楽しかった。今まで島を想っては無力感に打ちひしがれていた私が感銘を受けた人物の町政への道筋に携われるなんて、身震いするほど嬉しかった、島を想い続けてよかった。

あの日の言葉は全て私の心の底から溢れ出した愛する島へのメッセージだった。この経験で1人の人間が島に起こせる影響の大きさを知った。視野がかなり広がったと思う。また、人にはそれぞれが成せることや役割分担があることも学んだ。

全てを1人で背負いこむ必要はない。逆に自分では何もできないと思いを止める必要も無い。様々な業種、様々な経歴の人達が支え合って生きている。今出来る事、今感じている事を大事に島を想い続ける。そしていつかその想いを形にする。これが私の今後の夢

編集後記

私たちには大切な島がある。それは喜界島。目に見えるものばかりに囚われすぎていると本当に大切なものが見えなくなることがあります。

喜界島は私たちにとって無くてはならない故郷。一時の感情に惑わされず、しっかりと喜界島をみていきたい。本気で変えたい。本気で大切だからこそ最後まで諦めずに過疎化を食い止めていく。町民の皆様は議会内容、議員の活動を知っていただける「議会だより」幸いなことに、新人でございますが広報委員にも選ばれ、二冊目の担当でございます。

町民の皆様には「議会だより」を目指し、今後は老若男女問わず、興味を持っていただけるように、委員会でも試行錯誤を繰り返して取り組んで参ります。そして喜界町議会という新たなステージで「輝く未来」を見据え頑張って参ります。「議会だより」、「議会」に対して意見等ございましたら配布いたしておりますアンケート用紙にてお聞かせください。初めての試みではありますが、たくさんのご意見・感想をお待ちしております。

文責 土岐和貴



『大切』は身近な場所に

- 喜界町議会広報委員会
- 委員長 良岡 理一郎
- 副委員長 倉橋 博都
- 委員 野間 弘也
- 委員 生島 常範
- 委員 米田 信也
- 委員 土岐 和貴